

埼玉会だより

2016年活動テーマ
「守破離に挑む」



会長挨拶



「守破離に挑む」

第24代埼鍍会 会長 饗場 功治

爽やかな初夏を迎え、木々は大きく育ち、大きな実をつけるための花々が美しく咲き誇ろうとするこの季節に、50年をまもなく迎えようとする歴史ある埼鍍会の会長に甲斐野前会長のご推薦を受け役員会から推挙いただきまして、この大役を拝命させていただきましたこととなりました、(株)潮工業の饗場功治です ご指導のほどよろしくお願ひ申し上げます。

直前会長の甲斐野さんをはじめ23代にわたる会長と会員・会友の方々のご活躍によりここまで成長をした埼鍍会の会長を務めることはとても身の引き締まる思いです 「饗」は「おもてなし」と読みます。任期中は会員・会友の皆様と一緒に多方向に向かっての「おもてなしの心」を養うとともに、今期の活動テーマを「守破離に挑む」とさせていただきました。先輩方のご努力を糧に変わりゆく時代に対して埼鍍会流のやり方で挑んでみたいと考えております。会員・会友の皆様のお知恵を拝借しながら、ひとつでも新たな収穫を活動の中で実感できるよう努め参る所存です。

早いもので入会してから14年目となります。この業界に外から飛び込んで全てが分からないことばかりでしたが、この埼鍍会の先輩方に助けていただきながら弊社の運営を行って参りました。このご恩を我らの後継者達に返すことで、「やっと一人前になったな」とお褒めいただけることを目標に頑張ります。

平成27年度 第46回 定期総会

2015年6月13日(土)、さいたま市大宮区の「料亭旅館新道山家」にて、埼鍍会の第46回定期総会が開催されました。当日は夕日なのに肌を刺すような暑さの残りを感じる中、定期総会では24名、その後の懇親会では27名の会員にご出席いただきました。



司会進行(株)小林鍍金工業 小林(直)氏、議長 潮工業(株) 饗場氏により、議事進行がなされました。兼松精鍍工業(有) 島村氏の「開会の辞」により、定期総会が開催され、まず本日から任期2年目となる甲斐野会長から会員各位へ前年度における協力への感謝の意とこれからの活動の意気込



みについてご挨拶をいただきました。続いて(有)石田電解研磨工業所 石田氏より定足数が問題ないことが報告された後、(株)大倉 岡田氏より「平成26年度の事業報告」、続いて日本ミクロ工業(株) 山本氏より「平成26年度収支決算報告」、会計監査報告は監査役を代表して、(株)大宮鍍金工業 出野氏が行い、意見、意義もなく本件は承認されました。



次に本年度の計画案へと議事が移り、岡田氏より事業計画案が発表され、続いて山本氏より予算案の上程があり、すべての閣議を満場一致で可決された後、(有)渡辺鍍金工業所 渡辺直前会長の「閉会の辞」にて定期総会は無事に終了しました。その後、ご来賓いただきました埼玉県鍍金工業組合 黒澤理事長より、埼鍍会の大先輩としてのご助言を、そしてこれからめつき業界の展望について話してくださいました。



総会の真面目な雰囲気を残しつつ、引き続き「料亭旅館新道山家」の宴会場にて、懇親会が開催されました。お忙しい中、御来賓として、埼玉県鍍金工業組合から黒澤理事長、会友の新藤様、阪本様にも御参加して頂き、盛大な懇親会となりました。まず甲斐野会長は、これからめつき業界は情熱を持ち、どんどん挑戦をしていかないといけなのではないか、と活動テーマである「情熱と挑戦」に関して具体的な話を頂き、そしてそのテーマを埼鍍会でも実践していく旨を伝え、若輩の会員として身の引き締まる思いがしました。

続いて埼玉県鍍金工業組合 黒澤理事長より御祝辞を頂き、さらにその後、新硬クローム工業(有) 新谷氏より乾杯の挨



拶をいただきました。毎回の事ですが、用意された時間が短く感じるほどあつという間に時間が過ぎ、楽しくもためになるという、まさに埼鍍会といった雰囲気を感じる中、締めの時間となりました。

締めは第9代会長 新光メッキ工業(株) 新藤様にしていただき、埼鍍会会員に向けて有りがたい言葉を頂戴しました。

懇親会の最後には参加者全員の集合写真を撮り、参加者全員の笑顔を写したままお開きとなりました。

この席にて埼玉県鍍金工業組合と奥野製薬(株)から多大な御奉仕を頂いたこと、最後になりましたがここで感謝の意を述べさせていただきます。



7月例会 「講師例会」

て勉強会を行いました。内容は大きく2つあり勉強会の前半はSDS、REACH、RoHS、コンフリクトミネラル等の用語の説明、後半は3価クロムメッキについてというものでした。

前半ではMSDSはGHS対応に伴い2012年3月からSDS(安全データシート)に変更になったこと、REACHは欧州地域を対象とした化学品の規制であり、対象物質は2013年時点で144個、事実上の使用禁止物質は22個あること、RoHSは欧州で生産、販売する電気・電子機器を対象に鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDEの使用を制限するものと説明をして頂きました。それぞれの単語は我々メッキの業界では頻繁に耳にする機会がありますが、実は正確に理解できていない部分もあったのではないかと思いますので、改めて良い勉強の機会になったと思います。またコンフリクトミネラルについてはアメリカが対象でコンゴ共和国及びその近隣9ヶ国で採掘されたタンタル、錫、金、タングステンが自社製品に含まれている場合は公表しなければならないということでした。

後半では最近の3価クロムメッキの動向に焦点を当てた内容となりました。6価クロムメッキとの比較も交えながら、更に準備して頂いた3価クロムメッキのサンプルを確認しながら進めて頂いたので、非常に分かり易い勉強会となつたではないかと思います。

講演の後は大宮駅近郊の「月の庵(大宮西口店)」で奥野製薬工業(株)講師の中島先生にもご参加頂き情報交換会が行われました。懇親会では、美味しい食事とお酒を頂きながら講演時間内で聞けなかった事など質問している様子も見受けられました。

去る平成27年7月17日(金) 18時からソニックシティーの501号室にて埼鍍会7月例会を開催いたしました。今回は奥野製薬工業(株)東京技術課 中嶋様を講師に招き、約25名の参加者のもと、1時間半にわたつ

9月例会

「第3回 東群崎青年部 合同ゴルフコンペ」

日時 平成27年9月12日(土)
場所 伊香保国際カントリークラブ



東京、群馬、埼玉県の鍛金組合青年部合同にて「東群崎ゴルフコンペ」を群馬県渋川市の伊香保国際カントリークラブにて開催しました。第三回目を迎えるにあたり、このコンペは埼鍛会より15名、東京都より2名、群馬県より7名。総勢24名、6組の大所帯にてゴルフを楽しみました。

例会開催日の数日前まで、数週間にわたり晴れ間のない日が続き、各地で被害が出る程の豪雨も降りました。しかし、当日はそれまでが嘘のようなとても気持ちのいい快晴で、最高のコンディションでした。久しぶりに見た太陽の下、参加者全員爽やかにプレーできたのではないでしょうか。

毎年、参加者の平均スコアが徐々に上がっており、参加者のレベルアップを感じます。これが青年部のパワーなのだと実感しました。プレー終了後の表彰式では、多くの企業様より多数の協賛品を頂いており、またアトラクションホールを多数設定したおかげで盛り上がりました。

ゴルフの話をしながら、めつき業界の話、仕事の近況の情報交換等ができる懇親を深められ、参加者全員にとって有意義な時間を過ごせたのではないかでしょうか。

10月例会

「マイナンバー入門講座」

10月例会は10月9日(金)、ソニックスシティ803号室にて「マイナンバー入門講座」と称し、県担当者によるマイナンバー制度の仕組みと企業が準備すべき内容の勉強会を行いました。

2015年10月5日に施行された当該制度は企業経営に関わる重要な事柄ですので、なるべく多くの方に知っていただきたく、今回は初の試みとして親組合会員様にもご案内しご出席いただきました。

資料とスライドショーを用いて概要の説明の後、質疑応答では細かい内容まで丁寧に回答いただき、参加した受講者一同マイナンバー制度への理解を深めることができました。

今回は県の制度である「県政出前講座」を利用し県の担当者様に直接説明していただきました。これは、県の職員が、地域で行われる集会や団体の会議、学校の授業などの場を通じて、各制度についてわかりやすく説明することを趣旨とする試みで、県が重点的に取り組む事業や、安心、安全、福祉など県民の皆さまの生活に関係の深いテーマを289テーマ用意し無料で説明を受けることができる制度です。是非何かの機会にご利用いただければと思います。

続いて懇親会をソニックスシティ裏の月の庵にて開催し、収支和やかなムードのまま会を終了することが出来ました。

お忙しい中参加頂いた会員の皆様、親会よりご出席いただいた黒澤理事長、仁科顧問理事、小築様、誠に有り難うございました。



講師：
県企画財政部情報システム課
住基ネット・マイナンバー担当 森田様



11月例会

「視察研修会」



参加人数は12名。今回は山形のジャスト株式会社の岡崎社長のご厚意により、会社見学を行える運びとなり、その流れで山形観光も行いました。

新幹線で移動し、ジャスト株式会社の最寄り駅であるかみのやま温泉駅で降りて、そこで地元で有名な「長好亭みさき」で昼食を取り、ゆっくりとジャスト株式会社へと向かいました。当日は天気にも恵まれ、道すがら豊かな自然を静かに堪能する事が出来ました。丁度時期だったらしく、あちらこちらに柿の実がありあの独特な橙色が町を彩っていました。

ジャスト株式会社に着くと、岡崎社長が笑顔で出迎えてくれ、早速と案内された工場は整理整頓が行き届き広々とした工場で、ニッケルや亜鉛、銀めっき等様々なラインがあり、工場見学が始まると皆の目つきが変わり、岡崎社長の話に耳を傾けつつ思い思いの所を見学していました。特殊めっきの棟も案内して頂き、めっきの奥深さを改めて実感しました。

その後、別室で行われた岡崎社長による話は自動車と電車による「重さによる単価」の話や有名テレビ番組のたて×ほこでも使用された特殊コーティングのめっきの話など興味が尽きませんでした。



その後、懇親会は日本料理店「白ぎく」で行われました。振る舞われた料理とお酒に舌鼓を打ちながら、岡崎社長と我々埼鑛会、埼玉と山形との違い、めっきの話や仕事、経営など様々な意見交換を行い、とても有意義な時間を過ごしました。

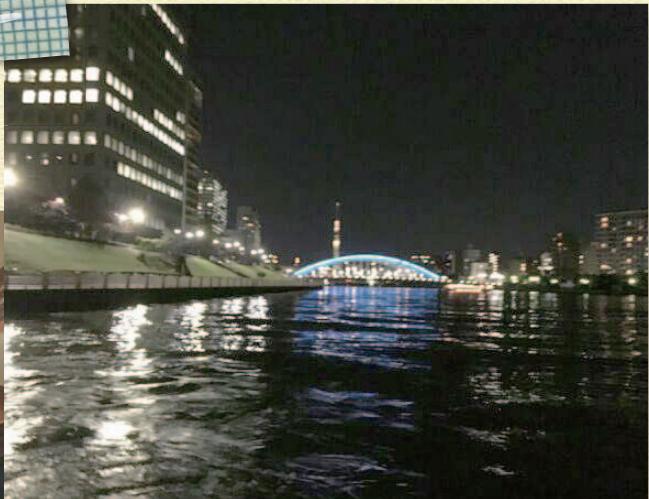
二日目はあいにくの雨となり、屋根のある「高畠ワイナリー」にて過ごさせて頂きました。山形では果樹栽培が盛んで、サクランボやブドウ、ラ・フランス、リンゴなどが有名で、高畠ワイナリーでは地元産地のブドウを使ったワインが有名です。おいしいワインと駅に併設されていた温泉で日頃の激務の疲れが少しでも癒せたかと思います。

最後にジャスト株式会社岡崎社長に、お忙しい中今回の視察を快く承諾して頂いた事、感謝を述べさせて頂きます。



12月例会

「忘年会」



11月27日(金)、12月例会として忘年会が東京の朝潮桟橋からナイトクルージングパーティーとして開催されました。忘年会シーズンなか、22人が参加していただきました。

船が19時30分に就航しました。始めに、甲斐野会長に挨拶をいただき、そして渡辺前会長に乾杯挨拶をしていただきました。そしてパーティーが始まり、いろんな料理がどれも美味しいかったです。船は何ヵ所か撮影スポットで止まって、いい夜景がとりました。そして2時間ナイトクルージングパーティーが終わりました。二次会も、盛り上りました。楽しい12月例会(忘年会)になりました。

出席をいただいた皆様、ありがとうございました。

2月例会

「賀詞交歓会」

埼鍍会の賀詞交歓会は2月の第1金曜日と例年決まっており、1月からの新年会・賀詞交歓会ラッシュの最後にこの賀詞交歓会というスケジュールのために多くの情報を各自が持ち寄って開催されます。年によって皆の表情が明るかったり・暗かったりと世相が反映されるため、とても興味深い集まりと感じています。

さて、今年は？と参加者の表情を見渡すと… 正直どちらとも言えない落ち着いた表情をしていました。経済や政治の動きなどが停滞し様子見という雰囲気がそのまま静観という表情に出ているのでは？という印象でした。

この日は、鍍金業界の全国組織である「全鍍連」が主催する全国の青年部代表者会議が同日開催ということで甲斐野会長と私の二人で東京～大宮と忙しい日となりましたが、賀詞交歓会冒頭での甲斐野会長のあいさつには、その全国で話題となった悩める問題や今後の課題などが埼鍍会会員に新鮮な情報として伝えられた。続いてお忙しい中お越し下さった埼玉県鍍金工業組合の黒澤理事長からは厳しいながらも温かいご声援を会員一同に向けてご挨拶をいただきました。黒澤理事長も埼鍍会OBであり会長経験者ですので、指導者としての側面だけでなく仲間としての距離感で接して下さるので我々にとってこの存在は幸せなことだと感じております。

会も半ばとなり、賀詞交換会恒例のbingo大会を！というところを今年は趣向を変えてチーム戦によるゲーム大会を開催いたしました。初めての開催となるとハプニングはつきものですが、あまりの企画のダメさに参加者にご迷惑をかける場面もあり幹事として本当に申し訳なく反省しております。しかしながら今回は5つのゲームで各勝利者に豪華景品が出る！と争奪意欲のもとに皆さんが楽しんで下さり70%くらいで成立したのでは!?と胸をなでおろす気分でおりますが皆様の感想としてはいかがだったでしょうか？各ゲームで加算されたチーム戦も白熱し、最終戦に勝利したチームが優勝して話題のアクロバット・エンターテイメント「トーテム」の鑑賞チケットが贈されました。

リハーサルなし、テストなし、私の頭の中だけの妄想をそのまま本番で行ってしまったゲーム大会でしたが、そこは埼鍍会！なんとなくルールを理解して楽しんでしまう面々は素晴らしい頭の回転が良く、仲間意識が強く、チャレンジ意欲に貪欲なメンバーが揃っていることが再発見できた会でもありました。

最後に会友として毎回ご参加下さる大先輩の仁科社長から、京都の会合での我々では知りえぬ貴重なお話を締めのご挨拶でした。だきながら今年も埼鍍会員にとって素晴らしい年となることを祈念しての閉会となりました。



4月例会

「小江戸川越お花見例会」

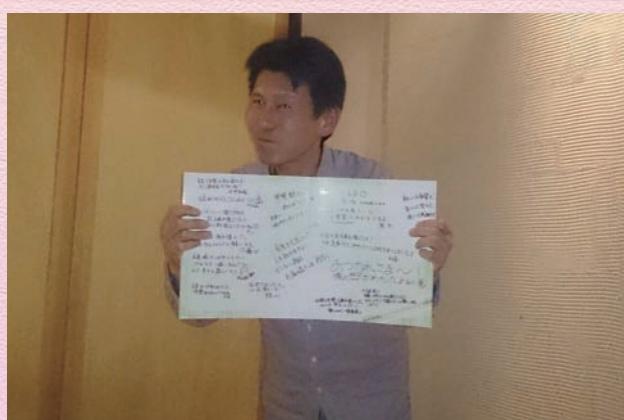


4月例会は、甲斐野会長最後の例会という事もあり、会長のお膝元でもある川越の情緒あふれる蔵造りの街並みを会員の皆様と楽しもうという事で、「小江戸川越お花見例会」と題して開催いたしました。

当日は本川越駅に集合後、いざ小江戸川越のシンボルでもある「時の鐘」時計台を目指して出発、初めに淡いピンク色に木々が染められた蓮馨寺の境内で一同足をとめ短い時間でしたが春の訪れを楽しみました。

次に蔵造の街並み一番街へ、大きな瓦葺の屋根に鬼瓦、分厚い観音開きの扉にしつくいの壁、この通りの建物は江戸の街並みと大正、明治の建物が混在しつつ、昔のままのお店と現代風のカフェやお土産屋さんなど歴史情緒と現代のコラボされた不思議な街並みを楽しみながら、目的地、時の鐘に到着。残念ながら修繕工事中とのことで、入り口には大きな工事中の看板とシートが被せられていきましたが、みんなで記念写真一枚、その後、駄菓子屋横丁を巡り会長が生まれ育った街並みを思い出話を聞きながら和気藹々と2時間ほど小江戸川越の街並み散策を楽しみました。

散策後、会場を「和牛炭火焼 金虎」へと移動し参加された皆さんから会長へ寄せ書きを贈らせて頂き、川越の楽しいひと時を過ごしました。



第4回

めつき業界の未来を担う 若手の集い

平成28年3月11日(金)16:00より、ホテル法華クラブ仙台にて第4回「未来を担う若手の集い」がジャスト(株)の岡崎淳一さんが会長である北青会の主催で行われました。11の青年部、2つ工業組合、それに全国鍍金工業組合連合会と合計14の団体、81名が集まりました。御来賓として全鍍連より栗原会長も駆けつけ、我が埼鍍会からは7名の有志が参加しました。

まず、株式会社NCネットワークの内原康雄さんを講師として招き、【挑戦する製造業（中小企業）のブランド＆マーケティング戦略】と銘打ち、様々な角度からの視点を駆使し、生き残る会社ではなく、「勝ち取った会社」になるにはどうしたらいいか、とこれからめつき業界を背負って立つ若手に相応しい講義内容でした。

そして奇しくも3月11日ということで、その後の懇親会では東関東大震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく黙祷を捧げ、御冥福をお祈りさせて頂きました。

厳かな雰囲気の中、始まった懇親会ですが各組合団体紹介で、埼鍍会が最初の音頭となる形となりやはりと言うべきか、もはや名物となっている元気とユーモア溢れる挨拶と紹介を行い、他団体様もそれに負けないそれぞれ特色のある紹介をされ、会場は常に笑いと活気で満たされていました。

名産の笹かまぼこ・地元高校生が育てたお米をお土産として渡され、嬉しい北青会の心意気でした。

時間が経つのは早く、予定時間は押しに押し、その場だけでは足らず、参加者の多くは二次会、三次会と繰り出し、さらに交流を深めました。内容はそれですが、この業界の未来の事はもちろん、過去の事や今現在の事、熱く語り合った夜になりました。

会社というのは一人では成り立ちません。また、人間も一人では生きていけません。人と人が繋がり、絆が生まれ様々な関係が出来る。そうやって、人も会社も成り立つものだという事を強く実感しました。また、その絆も一朝一夕で生まれるものではなく、長い時間をかけてゆっくり作っていくものだろうと思います。昨今、原材料の高騰、海外勢の進出、年々厳しくなる環境規制、理不尽な自然災害など不安材料が多く、明るい話題もあまり聞かないですが、これだけの活気ある若手が集まり、絆を紡ぐ事が出来れば、この先の困難も乗り越えていけるだろうと思います。

最後にこの会に出席出来た事と主催である北青会に感謝を捧げると共に、この会が継続される事を強く望みます。



埼玉県鍍金工業組合 青年部

埼 鍍 会

発行日 2016年5月25日

発行所 埼玉県鍍金工業組合青年部
埼 鍍 会

発行人 埼鍍会会长 甲斐野 嘉彦
編集人 佐藤 智弘・矢沢 健